山形県立東桜学館中学校·高等学校 桜友同窓会母校創立100周年記念事業 記念演奏会·記念講演会



令和4年9月15日(木) 13:00

やまぎん県民ホール

主催: 桜友同窓会母校創立100周年記念事業実行委員会

ごあいさつ

桜 友 同 窓 会 会 長 笹 原 幸 悦



母校創立百周年、誠におめでとうございます。

私たちの母校が県立の高校に移管してから、令和三年度に百周年を迎えました。その間時代の要請で校名が幾度か変わり、前身の楯岡高等学校を母体にした現在の東桜学館高等学校が五つ目の学校名になります。

この間、本校は各界に二万余名の素晴らしい多くの人材を輩出しています。桜友同窓会では、この百周年を記念して実行委員会を立ち上げ、幾つ

かの事業を展開しています。その中の一つが本日の『記念演奏会・記念講演会』になります。

この素晴らしいホールで、世界に誇れる山形交響楽団の演奏、そして世界で活躍されています草 苅康子さんのお話に触れることができますことを大変うれしく思います。この企画にお忙しい中参加していただいた生徒の皆さん、そして先生方、ありがとうございます。本日は同窓会のメンバーも許される範囲内で参加しております。一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

ごあいさつ

山形県立東桜学館中学校・高等学校長 官 宏



昨年度、東桜学館の母体である楯岡高等学校が創立100周年を迎えました。その記念事業として、桜友同窓会の皆様から本校生徒の活動を後押しする様々なご支援をいただいております。心より御礼申し上げます。今日の演奏会と講演会も100周年事業の一環として行われるものです。今回の演奏会は、山形交響楽団の生の演奏をお聴きできる、しかも、東桜学館吹奏楽部とのジョイントの場面がある貴重な機会です。さらに、東桜

学館の校歌の作曲者である八木澤教司先生から100周年を記念して作曲いただいた「悠遠の羇旅 (ゆうえんのきりょ) - 芭蕉の歩いた出羽路」が演奏されます。

先日の吹奏楽コンクールにおいても吹奏楽部がこの曲を演奏しました。私はそのときに初めてホールでこの曲を聴きましたが、一瞬にして最も好きな吹奏楽の楽曲になりました。そのようなこともあり、今日の演奏をたいへん楽しみにしています。

また、講演会では本校の同窓生である草苅康子さんからご講演をいただきます。これからの時代を 生きていく皆さんにとって、たいへん示唆に富むお話になるものと思います。私も、草苅さんの様々な ご経験をふまえたお話をたいへん楽しみにしているところです。

人との出会い、音楽との出会い、さまざまな出会いが人生を豊かにしてくれます。今日の出会いもまた、皆さんの人生を豊かにしてくれる貴重な機会となることを心から祈念してあいさつといたします。

記念演奏会

第1部 吹奏楽ステージ (山形交響楽団・県立東桜学館合同)

山形県立東桜学館中学校・高等学校校歌

八木澤 教司

祝典序曲「パシフィック・シティ」

八木澤 教司

ユーフォニアム協奏曲

八木澤 教司

第2部 管弦楽ステージ (山形交響楽団)

リベルタンゴ

A・ピアソラ

スラブ舞曲第10番 Op.72-2

A・ドヴォルザーク

交響曲第4番 イ長調 「イタリア」 Op. 90 より

第4楽章

F・メンデルスゾーン

第3部 管弦楽ステージ (山形交響楽団・県立東桜学館合同)

悠遠の羇旅 - 芭蕉の歩いた出羽路

八木澤 教司

山形県立楯岡高等学校校歌

福井 文彦

記念講演会

演 題

山形からアフリカへ

~マラウイ湖畔の地で振り返る、世界各地で得たこと・伝えたいこと~

SATREPS「マラウイ湖国立公園における統合自然資源管理に基づく 持続可能な地域開発モデル構築(IntNRMSプロジェクト)」長期研究員

草苅 康子 氏

山形県立東桜学館中学校・高等学校吹奏楽部委嘱作品

悠遠の羇旅 - 芭蕉の歩いた出羽路 について

山形県立楯岡高等学校(同東桜学館中学校・高等学校の母体校)創立100周年を迎えるにあたり、桜友同窓会よりその記念事業の一つとして、本校オリジナル楽曲制作の機会をいただいた。日本を代表する作曲家であり、また本校校歌の作曲者である八木澤教司先生に作曲をお願いしたところ、ご快諾いただいた。

今より333年前、俳人松尾芭蕉は奥の細道紀行に際し、前身校の県立楯岡高校のあった村山市楯岡、そして現在校である東桜学館が建つ東根の地を訪れている。尾花沢から山寺へ向かう道すじであった。新暦でいえば、5月16日に江戸深川を旅立ち、松島や平泉などを訪れた後、7月1日に山形県に入り、7月31日に一度山形県を離れ、8月3日に再び山形県に入り10日間ほど過ごし、新潟県に向かった。この40日間で、松尾芭蕉は奥の細道に記載された全50句の俳句のうち、実に10句を山形県内にて詠んでいる。今回はその中からさらに5句を選び、それに基づいて自由な発想で八木澤先生に単一楽章の楽曲として仕上げていただいた。

眉掃を 俤にして 紅粉の花 関さや 岩にしみ入る 蝉の声 五月雨を あつめて早し 最上川 雲の峰 幾つ崩れて 月の山 暑き日を 海に入れたり 最上川

芭蕉が見たであろう満開の紅花畑のシーンから曲は始まり、古刹山寺での体験、船下りを楽しみにしていたが、少しスリリングな思いをした最上川、霊峰月山にて触れた山岳信仰、山形の人々の生活を支えた最上川が海に流れ出るフィナーレ部(山形の地と芭蕉の別れの場面でもある)が次々とサウンドによって鮮やかに描かれている。芭蕉は最上川を詠むことにこだわり、実際に最上川の句が2句奥の細道に掲載されているが、楽曲のその箇所には生徒の皆さんも知っているであろう最上川に関するメロディが聴こえてくるので、ぜひとも探してほしい。

さて、この委嘱作品の正式版は本日演奏(世界初演) する管弦楽版となるが、吹奏楽のコンクールやコンサート などでも使用できるよう吹奏楽版も存在し、そちらは昨年 6月に収録、7月1日エフエム山形の番組放送により世界 初演となった。この吹奏楽版は今後楽譜が出版される予 定であるが、この曲が楯岡高校及び東桜学館の名ととも に、世界の多くの吹奏楽団体に愛され、吹奏楽の重要な レパートリーとなっていくことは間違いない。



最後になりましたが、委嘱楽曲作成という貴重な機会をくださいました、桜友同窓会会長、事務局の皆様、同窓会会員の皆様、この作曲依頼を快く引き受けてくださいました作曲家の八木澤教司先生にこの場をお借りして御礼申し上げます。

工藤 俊幸(指揮者)



1966年酒田市に生まれる。国立音楽大学音楽学部作曲学科卒業。桐朋学園大学音楽学部オーケストラ研究科指揮専攻修了。指揮を崎田俊治、黒岩英臣、飯守泰次郎各氏に、作曲を増田宏三、島岡譲両氏に師事。1992年オーディションで選ばれ仙台フィル副指揮者に就任。外山雄三音楽監督のもと、1996年までその任を務める。その後一年間ベルリン・ドイツ・オペラで研修。帰国後は全国各地のプロオーケストラを指揮する傍ら、合唱指揮者としてもNHK交響楽団定期演奏会(H.シュタイン指揮)等で二期会合唱団の合唱指揮を務め高い評価を得た。オーケストラ指揮者としてはこ

れまでに山形交響楽団指揮者、群馬交響楽団指揮者のポストを歴任し定期演奏会等に出演する。現代音楽の分野でも定評があり、ミュージックトゥデイ、武満徹作曲賞本選や池辺晋一郎氏、林光氏のオペラ作品の初演を指揮。2016年より国立音楽大学音楽研究所公演にてバーンスタイン「ピーターパン」をはじめ数々の20世紀アメリカ音楽の日本初演を果たした。佐藤聰明作品を指揮したCD「仄かなる闇」がカメラータより発売されている。また2020年NHK連続テレビ小説「エール」では指揮者役でドラマ出演するなど多彩な活動を繰り広げている。国立音楽大学客員教授。

八木澤 教司(作曲者)



武蔵野音楽大学作曲学科卒業。同大学大学院音楽研究科修士課程修 了後、研究員として二年間の研鑽を積む。これまで作曲を浦田健次郎、田 中均、萩原英彦の各氏に、トランペットを関根剛二、戸部豊の両氏に、吹奏 楽指導法を佐藤正人氏に師事。

吹奏楽曲の代表作は日本のみならずアメリカ、ヨーロッパ、アジア諸国、 南米でも幅広く親しまれ"パリ・ギャルド"の名で世界最高峰と呼ばれるギャルド・レピュブリケーヌ吹奏楽団によって新作が初演された数少ない邦人作曲家である。

2019年11月9日、天皇陛下御即位奉祝記念式典・国民祭典において天皇皇后両陛下「お出迎えのファンファーレ」として、東京2020パラリンピック開会式の式典音楽として作品がそれぞれ抜擢された。その他、全国植樹祭、全国高等学校総合体育大会、そして国民体育大会の式典音楽制作を歴任。その他、各種コンクール審査員、客演指揮、指導、講演、音楽雑誌執筆に加え、音楽出版社のプロジェクトアドバイザーなど意欲的な活動を展開。

ョーロッパで歴史的権威のあるスペイン・バレンシア国際吹奏楽コンクールの課題曲に作品が選定される他、ヤマハミュージックメディアから著書「やぎりんの吹奏楽入門」「吹奏楽のための音楽形式がわかる本」を出版、宮部みゆき原作のミステリー映画「ソロモンの偽証・後篇」では《輝きの海へ》が挿入曲として使用されるなど国内外の多方面で話題を集めている。

合唱曲として手がけた《あすという日が》は"希望の歌""東日本大震災復興シンボル曲"と称され、2011年第62回NHK紅白歌合戦において夏川りみ、秋川雅史の両氏によって熱唱されるなど、"困難を乗り越えれば必ず希望のある未来が待っている"といったテーマを用いた作風は、ジャンルを超えて世界中の人々を勇気づけている。

第21回日本管打・吹奏楽アカデミー賞[作・編曲部門](2011年)受賞、平成23年度JBA下谷奨励賞を受賞。2020年度より関西に拠点を移し、神戸女学院大学音楽学部で作曲・音楽理論・吹奏楽の指導にあたる。21世紀の吹奏楽"響宴"作曲家会員。

山形交響楽団 Yamagata Symphony Orchestra

食と温泉の国のオーケストラ



常任指揮者 阪哲朗、首席客演指揮者 鈴木秀美、創立名誉指揮者 村川千秋、桂冠指揮者 飯森範親、名誉指揮者 黒岩英臣の指揮者陣に、コンポーザー・イン・レジデンス西村朗を擁する。山形テルサ・酒田・鶴岡での定期演奏会のほか、特別演奏会、依頼演奏会、山形県下で毎年3万人以上の青少年に"感動"を届けるスクールコンサートやテレビ・ラジオ出演、アウトリーチなど年間150回に及ぶ多彩な演奏活動を展開。古典作品でナチュラルブラスを用いて演奏することも山響の大きな特徴となっている。

1971年村山市出身の指揮者村川千秋によって 準備オーケストラが組織され、翌1972年東北地方で

は初めてのプロ・オーケストラとして誕生した。同年8月運営母体として山形交響楽協会を設立し、 9月には、第1回定期演奏会を開催。その後演奏活動範囲は、東北6県・新潟県にまで拡大した。

1987年サントリーホールにて初の東京公演を成功させ、以来継続的に東京公演を実施している。特に、2003年から毎年6月に東京オペラシティにて開催している「さくらんぼコンサート」では山形物産展を同時展開。"地方からの発信"の先駆けとなり、毎夏の風物詩となっている。2012年からは、「さくらんぼコンサート大阪公演」がスタート。活動の場を関西地域まで広げている。

1991年7月には、アメリカ・コロラド州で開催された「コロラド・ミュージック・フェスティバル」に参加、初の海外公演を行った。

2004年、飯森範親(2007年から音楽監督)の常任指揮者・ミュージックアドヴァイザー就任を機に、演奏水準・活動が飛躍的に成長し、名実共に東北地方のみならず日本の音楽文化を代表するオーケストラとしての地位を確立。2006年、オーケストラの自主レーベルとしては日本初となるCDレーベル『YSO live』を立ち上げ、高い評価を得ている。2007年から2015年まで8年半にわたる壮大なプロジェクト、「アマデウスへの旅」(モーツァルト交響曲全曲演奏会)を開催、2008年には、アカデミー賞映画「おくりびと」に出演。2017年「モーツァルト交響曲全集」を発売、第55回レコード・アカデミー賞(特別部門企画・制作)を受賞し全国的な話題となる。

2020年6月より、常任指揮者阪哲朗とともに「ベートーヴェン交響曲全曲演奏会」をスタート。全集DVD制作とインターネット配信を通じて、山響の新たな魅力を発信している。2022年、創立50周年を迎えた。

山形県芸術文化会議賞、齋藤茂吉文化賞、河北文化賞、サントリー地域文化賞、地域文化功労者文部科学大臣表彰。

オフィシャル・ウェブサイト https://www.yamakyo.or.jp/ 山形交響楽団映像配信のご案内

●クラシック専門ライブストリーミングプラットフォーム「CURTAIN CALL」 ▶

https://curtaincall.media/yamakyo

●山形交響楽団公式YouTubeチャンネルト

https://www.youtube.com/c/YamagataSymphonyOrchestra

県立東桜学館高等学校吹奏楽部 (県立楯岡高等学校吹奏楽部・音楽部)



1921年(大正10年)、県立楯岡実科高等女学校 創立時より女声合唱での活動を行っており、1949年 (昭和24年)男女共学への移行に伴い、混声合唱 活動も導入する。学校創立より約50年後の1972年 (昭和47年)に弦楽器が配備され、合唱活動と弦 楽活動を並行して行うようになる。続いて1974年 (S49年)頃に木管楽器、76年(S51年)に金管

楽器が加わり、オーケストラ活動が活動の主軸となる。79年(S54年)に全日本吹奏楽連盟主催の吹奏楽コンクールに初出場にして県大会出場。92年(平成4年)の第47回国民体育大会(山形県開催・べにばな国体)の式典演奏及びアトラクション演奏等を担当し、その後活動を完全に吹奏楽へと移行する。 2011年(H23年)、長く使用してきた「音楽部」から活動の実態に合わせて「吹奏楽部」へと名称を変更。

これまで、国民体育大会、全国植樹祭、全国育樹祭、全国高等学校総合文化祭などの式典音楽を担当。コンクール等においては、全日本吹奏楽コンクール県大会高校小編成の部金賞、全日本アンサンブルコンテスト山形県大会金賞、全日本マーチングコンテスト東北大会出場などの実績を収める。自主開催の定期演奏会は34回実施し、テレビやラジオ番組等にも出演。また、外部依頼の演奏活動等も積極的に行っている。

県立東桜学館中学校吹奏楽部



2016年開校と同時に創立。入部するまで楽器経験がない生徒がほとんどであるが、高校吹奏楽部と合同で基礎練習に取り組みながら、豊かな響きを追求し練習を重ねてきた。これまで令和元年全日本吹奏楽コンクール山形県大会中学小編成の部金賞、令和4年全日本吹奏楽コンクール山形県大会中学校の部銀賞、また、全日本アンサンブルコンテスト山形県大会に幾度となく出場するなどの成績を

収める。「ひがしねウィンターフェスティバル」点灯式での演奏や、神町駐屯地創立63周年記念音楽 イベントへの参加など、地域での演奏会にも積極的に参加している。

草苅 康子(記念講演会講師)



村山市に生まれ、楯岡高校を卒業。大学を卒業後、青年海外協力隊として、アフリカ・マラウイで3年間、地域開発の訓練・教材作成等に従事。マラウイでアフリカの魅力にはまり、その後、アフリカ在住歴は通算で10年以上。(アフリカの在住国は、マラウイ、カメルーン、エリトリア、ガーナ等~下記詳細)

米国・アイビーリーグの名門・コーネル大学で修士号(国際開発学)、東京 大学で博士号(サスティナビリティ学)を取得。この間、政府系調査機関関係 調査研究員(東南アジア諸国)、開発援助機関調査研究員、開発コンサル

タント、JICA専門家(エリトリア)、国連開発計画/UNDP(カメルーンでインターン、ガーナでプログラムオフィサー)、国連大学アフリカ自然資源研究所/UNU-INRA研究員(ガーナ)として、開発の実務・研究・教育に従事。2018年4月、世界銀行東京防災ハブコンサルタント、東京大学大学院新領域創成科学研究科特任研究員を経て、昨年6月からはマラウイ・マラウイ湖国立公園内チェンベ村(ケープマクレア)に長期研究員として滞在し、生活の質や福利に関する研究や実務に従事中。正式研究名称は「JST-JICA SATREPSマラウイ湖国立公園における統合自然資源管理に基づく持続可能な地域開発モデル構築(IntNRMSプロジェクト)」。日本マラウイ協会理事、A-GOALプロジェクト副代表・マラウイ支部リーダー。ガーナで、国連勤務時にサッカー選手と開発・平和プロジェクトでコラボし、サッカーの果たす役割を実感。「サッカー」と「ヘディス」というスポーツに興味関心を持つ。A-GOALのメンバーたちと共に、ケープマクレアにて共同農園運営やローカル食堂開業に向けた活動にも取り組んでいる。

布川 清史 (ユーフォニアム)

村山市楯岡出身。県立楯岡高等学校(無双会)を経て、洗足学園音楽大学声楽科に入学。翌年器楽科ユーフォニアム専攻に転専攻。吹奏楽の世界的権威である、故アルフレッド・リード博士のもと、吹奏楽の研鑽を積む。ユーフォニアムソリストとして、神奈川県立音楽堂推薦演奏会、ユーフォニアムデビューコンサート等に出演。同大学卒業、同大学専攻科終了。ピアノを岩岡良子、藤川陽子、後藤文子各氏に、声楽を佐藤博夫、宮原昭吾の各氏に、ユーフォニアムを後藤文夫氏に、ジャズトランペットを原朋直氏に師事。

村山市民会館開館30周年記念演奏会にてヘンデルのメサイアのバスソリストを務める。また村山市市制施行50周年記念演奏会においてベートーヴェン交響曲第9番のバスソリストとして山形交響楽団と共演。声楽アンサンブルグループ「アンサンブルコルネ」のバスメンバーとして、東京ヴォーカルアンサンブルコンテストにて金賞、及び東京都知事賞(最高位)受賞。山形県民芸術祭において芸術大賞受賞。グループ在籍中に3枚のCDをリリース。ジャズオーケストラ「セレクション」、山形県非公式選抜ジャズビッグバンド「ハイブリッドサウンズ」及び山形県公式選抜ジャズビッグバンド「YABAスペシャルバンド」のトランペット奏者として活動。国民芸術祭ジャズ部門に3度出場し、世界的トランペッターエリック宮城氏との共演を果たす。山形県において開催された全国植樹祭及び全国育樹祭式典音楽隊の指揮者を務める。

県高校教育研究会芸術部会音楽専門部会研究大会にて発表したコードネーム教授法のアイディアが某高校音楽教科書に採用、掲載されている。

山形県立東桜学館高等学校教諭。山形県吹奏楽連盟副理事長。

桜友同窓会母校創立100周年記念事業記念演奏会 出演者

指 揮

工 藤 俊 幸 (山響)

ソロ・コンサートマスター 髙 橋 和 貴 (山響)

首席コンサートマスター 犬 伏 亜 里 (山響)

アシスタントコンサートマスター 平澤 海 里 (山響)

1st ヴァイオリン

五十嵐 さやか (山響) 石井 万里子(山響) 豊田 泰 子 (山響) 沈 青 (山響) 中島 光 之 (山響) 蜂谷 ゆかり (山響)

2nd ヴァイオリン

ヤンネ 舘野 (山響首席) 瑞 生 (山響首席) 堀 越 今 井 東 子 (山響) 河 村 佳 奈 (山響) 黒 瀬 美 (山響) 常 盤 郁 子 (山響)

倫 代 (山響)

ヴィオラ

丸山

成 寛 (山響首席) 田 保 人 (山響首席) 山中 井 戸 健 治 (山響) 倉 讓 田 (山響) 田中 知 子 (山響)

チェロ

加藤

小川和久(山響首席) 矢口 里菜子(山響首席) 久良木 夏海(山響) 邢 広 京 (山響) 茂 木 明 人(山響) 渡邊 研多郎 (山響)

皓 平 (山響客演)

コントラバス

三 崎 屋 義 知 (山響首席) 柳澤 智 之 (山響) 米 山 明 子 (山響) 早 坂 蒼 汰 (高校 2 · PL) 大 沼 日 和 (中学1)

フルート

久 知 翔 (山響首席) 小松崎 恭子(山響) 福 田 彩 奈 (高校2·PL) 双 葉 (高校2) 大 泉 森 優 奈 (中学3) 横尾 愛 來 (中学2·PL) 池 田 小 菙 (中学1)

オーボエ

柴 田 祐 太 (山響首席) 千田 瑛里奈(高校1·PL)

オーボエ&イングリッシュホルン 齋藤 真美(山響)

ファゴット

上 健 (山響首席) 野 鷲 尾 俊 也 (山響) 柴 崎 愛 菜 (高校 2 · PL)

クラリネット

小 林

川 上 一 道 (山響首席) 本田 有里恵(山響) 西根 茉莉亜 (高校2・コンミス) 藤 光 (高校2・副部長) 佐 庄 司 唯 莉 (高校2) 二藤部 このか (高校1・学年代表) 淀川楠々(高校1) 齋藤 実希子(高校教諭) 枾 崎 汐 里 (中学3) 真 橙 (中学3) 和 \blacksquare 夏 平 美 (中学2·PL) 長谷川 愛果 (中学2:部長) 荒井 志 織 (中学1) 凛 香 (中学1)

バスクラリネット

保 科 光 稀 (中学2)

芳 賀 武 利 (中学1)

アルトサックス

大 築 有 子 (エキストラ)

横尾心和(高校2·副部長)

半 田 優 花 (中学3)

鈴 木 理 音 (中学2·PL)

テナーサックス

櫻 井 あい(高校2)

古郡唯亜(中学3)

矢作 颯太(中学1)

バリトンサックス

村 岡 拓 海 (高校1)

海 藤 杏 奈 (中学2·SL)

ホルン

梅 島 洸 立 (山響首席)

岡 本 和 也 (山響)

関 谷 智 洋 (山響)

小 椋 陽 咲 (山響)

小 野 朋 夏 (高校2·PL)

笠 原 新 栞 (高校1)

青木 さら(中学3)

清野菜々(中学3)

金 村 玲 央 (中学2·PL)

浅 岡 愛 梨 (中学1)

石 井 仁 子 (中学1)

トランペット

井 上 直 樹 (山響首席)

松 岡 恒 介(山響)

E・ヴァッタン (山響客演)

岸 祐 来 (高校 2 · PL)

鈴木麻衣(高校2)

渡 辺 彩 子 (中学3)

奥 山 瑛 太 (中学3)

皆 川 依 吹 (中学1)

木 下 桜 花 (中学1)

トロンボーン

太 田 涼 平 (山響首席)

篠 﨑 唯(山響)

五十嵐 万菜佳 (高校2·PL部長)

武 田 陸(高校1)

西村 梨里花(高校3)

菅 原 夕 貴 (中学3)

工藤悠樹(中学2)

松 田 陽 希 (中学2·PL)

安達陽樹(中学1)

バストロンボーン

髙 橋 智 広 (山響)

ユーフォニアム

森 幸 雄 (エキストラ)

鍛 冶 実 里 (高校1·PL)

半 田 瑞 歩 (中学3)

荒井 希咲(中学1)

テューバ

久 保 和 憲 (山響首席)

芦 野 響 (高校 2 · PL)

菅 野 珠 有 (中学3)

髙 橋 美 緒 (中学2·PL副部長)

鈴木 莉那(中学1)

ティンパニ&パーカッション

平 下 和 生 (山響)

三 原 千 加 (山響)

太田 真由美(山響客演)

新 井 那 菜 (高校 2 · PL)

庄 司 里 桜 (高校1)

櫻 井 莉 子 (中学3)

庄 子 暖 人 (中学3)

石 澤 麗 奈 (中学2·PL)

井上 あおい (中学2)

森 考 基 (中学1)

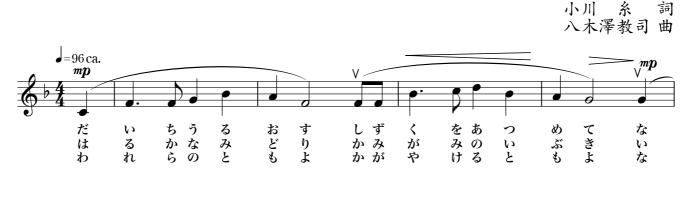
磯 辺 優 月 (中学1)

ユーフォニアム・ソリスト

布 川 清 史 (高校教諭)

SL:セクションリーダー PL:パートリーダー

山形県立東桜学館中学校・高等学校学校 校歌









I. 大地うるおす 雫を集めて 流れる水面は 雲を映す 光と希望と 愛を力に いつか優しい 花になりたい

2. はるかな緑 神々の息吹 命を育む このふるさと 夜明けのしじまを かけぬけながら 未来はばたく 風になりたい

3. われらの友よ 輝ける友よ 涙をこらえて 歩いた道 永遠の誓い 胸にだきよせ つばさ広げて 今 飛びたとう

山形県互楯周高等学校校教

真 璧 仁 作詞 福井 文彦 作曲

あかるくいきいきと M.M. -104



理想はばたく 若きいのちの 地手の星に ひらく思念よ 北手の星に ひらく思念よ でもに辿りて がらく思えないに

(昭和30年制定)

二、仰ぐ甑の 山のきらめき 一、仰ぐ甑の 山のきらめき 真理の窓に ひらく瞳ようたごえたかく すすむつどいに

栄光かがやけ 若きいのちの対きゆく春の 時を惜しみて対しみどりの 草を縛に対しるですぎゅく者の 時を惜しみて

山形県立楯岡高等学校校歌

文彦

作作詞